

特集

ポストコロナを見据えた 令和5年度重点事業！

第六次富士市総合計画の目指す都市像「富士山とともに 輝く未来を拓くまち ふじ」の具現化に向けて、令和5年度富士市当初予算の中で重点的な取組として位置づけられた事業の中から、注目すべき新規事業を御紹介します。

取組1 少子化対策に関連する取組

31事業 予算額：27億2538万5000円

結婚から妊娠・出産・子育てに至る切れ目のない支援を行うとともに、柔軟で多様な働き方の推進や移住定住の促進など、企業や関係団体等と協働し、若者が集い、子育てがしやすい地域づくりをさらに推進します。



子育て相談支援

注目事業 妊産婦支援事業

育児に不安を抱える母親を対象に、産婦人科医院等で保健指導や栄養指導等を行う産後ケア事業について、新たに日帰り型2時間タイプをメニューに加え、サービスの拡充を図る。

また、育児負担の大きい多胎産婦の産後ケア事業の利用料金を1/2とするほか、特定妊産婦の通院にかかるタクシー代の支援も新たに実施する。

取組2 地方創生に向けた取組

26事業 予算額：32億3173万1000円

地域活性化につながる取組や、まちの魅力を高める基盤整備のさらなる推進を図り、総合戦略に位置つけた施策のうち「豪雨等対策の強化」、「企業立地の促進」、「魅力あふれるまちなかの形成」を重点に進めます。

注目事業 富士山麓環境共生事業

令和4年3月に策定した富士山麓の環境保全と共生ビジョンにおける「自然との共生ゾーン」を対象に、民間活力による土地利用を図るため、土地利用事業計画に必要な静岡県レッドデータブック掲載種(貴重種)の確認や、測量調査等を実施する。

また、民間提案公募選定審査会を設置し、新たな民間管理者の選定を進めていく。



背景図：Google Earth

自然との共生ゾーン整備イメージ(案)

取組3 時代のニーズを捉え、未来を拓く取組

29事業 予算額：2億2204万3000円

ポストコロナの新しい時代の到来を見据え、SDGs、デジタル、ゼロカーボンなど時代のニーズや変化に適応した取組を加速させていくことで、地域課題の解決や新たな価値の創造を図ります。



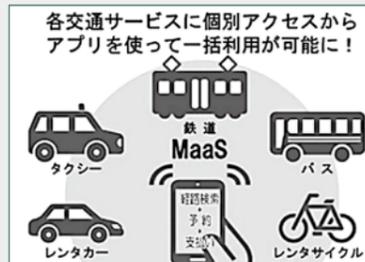
新富士駅シェアオフィス

注目事業 新富士駅シェアオフィス進出企業連携事業補助金

令和5年1月に開設した新富士駅シェアオフィス(WORX新富士)に進出した企業の定着等を図るため、進出企業が市内企業と連携して実施する事業の経費の一部を支援し、富士市デジタル変革宣言に基づくテレワーク先進都市の実現を目指す。

注目事業 MaaS推進・新交通システム推進事業

MaaS (Mobility as a Service) の導入により、様々な交通手段をシームレスに結びつけ、公共交通の利便性を向上させることを目指し、「(仮称)富士市MaaS推進協議会」を設立する。また、オンデマンド交通の実証運行や、自動運転デモンストレーション走行等も実施する。

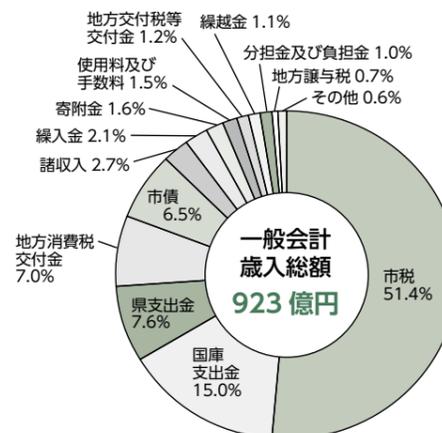


各交通サービスに個別アクセスからアプリを使って一括利用が可能に!

令和5年度 各会計予算を可決

<一般会計> 923億円
<特別会計> 538億1000万円 (国民健康保険事業ほか12会計)
<企業会計> 342億3290万円 (水道、公共下水道、病院の3事業会計)

一般会計・歳入 収入別内訳



一般会計・歳出 目的別内訳

